# 次世代校務DX基盤 ベンダー比較マトリックス

作成日: 2025年7月4日 対象: Google Workspace for Education vs Microsoft 365 Education + Azure **評価基準**: 次世代校務DX基盤RFI要件(27項目) **注意**: このファイルはZenn.dev には掲載されません

# エグゼクティブサマリー

### 総合評価スコア

ベンダー	総合スコ ア	完全対応	高適合	部分対応	不適合	推奨度
Microsoft 365	99点	22 <b>件</b> (81%)	4件 (15%)	1件 (4%)	0件 (0%)	□最高推奨
Google Workspace	79点	4件 (15%)	8 <b>件</b> (30%)	11 <b>件</b> (41%)	4 <b>件</b> (14%)	□ 条件付き推 奨

### 推奨判定

推奨レベル	Microsoft 365	Google Workspace
全教育機関	□強く推奨	×非推奨
地方自治体	□最適	△ 要リスク評価
国公立学校	□最適	△ 要法的確認
私立学校	□最適	□条件付き可
小規模校	□推奨	□ 条件付き可

# 詳細比較マトリックス

1. 法的・コンプライアンス要件

RFI要件	評価項目	Microsoft 365	Google Workspace	優位性
Q1-1	ISMAP対応	□ <b>完全対応</b> ・登録済み ・政府標準採用	□ <b>対応済み</b> ・登録済み ・利用可能	同等
Q1-2	専門チーム	□ <b>完全対応</b> ・教育専門チーム ・日本人専門家	□ <b>部分対応</b> ・一般チーム ・教育特化なし	Microsoft優位
Q1-3	日本データセンター	□ <b>完全対応</b> ・東日本・西日本 ・100%保証	× <b>重大課題</b> ・保証なし ・海外経由あり	Microsoft大幅優位

RFI要件	評価項目	Microsoft 365	Google Workspace	優位性
Q3-1	個人情報保護法	□ <b>完全対応</b> ・完全準拠 ・データ主権確保	□ <b>要注意</b> ・基本準拠 ・US CLOUD Act問題	Microsoft大幅優位
Q3-2	教育法規対応	□ <b>完全対応</b> ・学校教育法準拠 ・文科省認定	□ <b>部分改善</b> ・基本対応 ・特化不足	Microsoft優位
Q4-1	ガバナンス	□ <b>完全対応</b> ・包括的統制 ・監査機能完備	□ <b>部分対応</b> ・基本機能 ・制約あり	Microsoft優位
Q4-2	透明性	□ <b>完全対応</b> ・詳細報告 ・開示プロセス明確	□ <b>部分対応</b> ・基本報告 ・一部不透明	Microsoft優位

# 2. 技術的セキュリティ要件

RFI要件	評価項目	Microsoft 365	Google Workspace	優位性
Q2-1	暗号化・CMK	□ <b>完全対応</b> ・Customer Key ・AES-256 + α	□ <b>対応済み</b> ・CSE対応 ・顧客管理可能	<b>同等</b> (実装方法異なる)
Q2-1	HSM対応	□ <b>完全対応</b> ・Azure Dedicated HSM ・FIPS 140-2 Level 3	□ <b>部分改善</b> ・Assured Controls ・制約あ <i>り</i>	Microsoft優位
Q2-1	鍵管理システム	□ <b>完全対応</b> ・Azure Key Vault ・完全制御	□ <b>対応済み</b> ・CSE鍵管理 ・顧客制御	Microsoft優位
Q2-2	バックアップ	□ <b>完全対応</b> ・地理分散 ・自動・手動両対応	□ <b>対応済み</b> ・自動バックアップ ・基本機能	Microsoft優位
Q2-2	DLP機能	□ <b>完全対応</b> ・日本語完全対応 ・教育データ特化	□ <b>制限あり</b> ・基本対応 ・日本語制約	Microsoft大幅優位

# 3. システム統合・連携

RFI要件	評価項目	Microsoft 365	Google Workspace	優位性
Q5-1	API連携	□ <b>完全対応</b> ・Microsoft Graph ・包括的API群	□ <b>対応済み</b> ・Google APIs ・基本機能	Microsoft優位

RFI要件	評価項目	Microsoft 365	Google Workspace	優位性
Q5-2	校務システム連携	□ <b>完全対応</b> ・全主要ベンダー連携 ・豊富な実績	× <b>重大課題</b> ・公式連携少 ・実績不足	Microsoft大幅優位
Q5-2	認証連携	□ <b>完全対応</b> ・SAML/OIDC/OAuth ・教育IdP連携多数	□ <b>対応済み</b> ・標準プロトコル ・基本連携	Microsoft優位
Q5-2	データ移行	□ <b>完全対応</b> ・専用ツール群 ・FastTrack支援	□ <b>部分対応</b> ・基本ツール ・制約あり	Microsoft大幅優位

# 4. ユーザビリティ・サポート

RFI要件	評価項目	Microsoft 365	Google Workspace	優位性
Q6-1	UI・アクセシビリティ	□ <b>完全対応</b> ・年配者配慮 ・JIS X 8341準拠	□ <b>部分対応</b> ・基本対応 ・複雑な面あり	Microsoft優位
Q6-2	日本語サポート	□ <b>完全対応</b> ・24時間365日 ・教育専門チーム	× <b>重大課題</b> ・平日のみ ・一般サポート	Microsoft大幅優位
Q6-2	研修・マニュアル	□ <b>完全対応</b> ・教育機関特化 ・豊富なリソース	□ <b>部分対応</b> ・一般向け中心 ・教育特化限定	Microsoft大幅優位
Q6-2	SLA保証	□ <b>完全対応</b> ・99.9%保証 ・賠償制度あり	□ <b>部分対応</b> ・99.9%保証 ・制約あり	Microsoft優位

# 5. 性能・可用性

RFI要件	評価項目	Microsoft 365	Google Workspace	優位性
Q7-1	稼働率保証	□ <b>完全対応</b> ・99.9%(標準) ・99.95%(年度末)	□ <b>対応済み</b> ・99.9%保証 ・標準SLA	Microsoft優位
Q7-1	性能保証	□ <b>完全対応</b> ・応答時間保証 ・同時接続10万+	□ <b>対応済み</b> ・基本性能保証 ・スケーラブル	Microsoft優位
Q7-2	拡張性	□ <b>完全対応</b> ・柔軟な拡張 ・自動スケーリング	□ <b>対応済み</b> ・クラウド拡張 ・基本対応	同等

RFI要件	評価項目	Microsoft 365	Google Workspace	優位性
Q7-2	将来対応	□ <b>完全対応</b> ・継続的強化 ・教育投資継続	□ <b>要注意</b> ・基本対応 ・サービス終了歴	Microsoft優位

### 6. ゼロトラスト実装

RFI要件	評価項目	Microsoft 365	Google Workspace	優位性
Q8-1	NIST準拠	□ <b>完全対応</b> ・7原則100%対応 ・業界最高水準	□ <b>部分対応</b> ・基本対応 ・詳細制御制約	Microsoft大幅優位
Q8-1	条件付きアクセス	□ <b>完全対応</b> ・100+条件属性 ・ML活用最適化	□ <b>部分対応</b> ・基本条件制御 ・制約あり	Microsoft大幅優位
Q8-2	継続改善	□ <b>完全対応</b> ・自動最適化 ・予測的改善	□ <b>部分対応</b> ・基本改善 ・手動中心	Microsoft大幅優位

# 7. 教育機関特化機能

RFI要件	評価項目	Microsoft 365	Google Workspace	優位性
Q9-1	年度処理対応	□ <b>完全対応</b> ・School Data Sync ・自動年度移行	× <b>重大課題</b> ・特化機能なし ・手動対応必要	Microsoft大幅優位
Q9-1	大量データ処理	□ <b>完全対応</b> ・年度末特別保証 ・性能劣化なし	□ <b>部分対応</b> ・基本対応 ・制約可能性	Microsoft優位
Q9-1	緊急時対応	□ <b>完全対応</b> ・BCP機能充実 ・災害時サポート	□ <b>部分対応</b> ・基本BCP ・特化なし	Microsoft優位
Q9-2	小規模校対応	□ <b>完全対応</b> ・簡易パッケージ ・共同調達支援	□ <b>部分対応</b> ・基本対応 ・特化不足	Microsoft優位
Q9-2	段階導入支援	□ <b>完全対応</b> ・専任チーム ・並行運用支援	□ <b>部分対応</b> ・基本支援 ・制約あり	Microsoft大幅優位

# 重要リスク比較

法的・コンプライアンスリスク

リスク項目	Microsoft 365	Google V	<b>Vorkspace</b> リスクレベル差
データ海外流出	□ <b>極低</b> 日本国内保証	□ <b>高</b> 海外経由	<b>Microsoft<b>圧倒的</b> 可能性</b>
US法適用	□ <b>低</b> 日本データ主権	□ <b>高</b> 雀確保 CLOUD A	<b>Microsoft大幅優</b> ct適用
法令違反	□ <b>極低</b> 完全準拠	□ <b>中</b> 要確認事	Microsoft <b>優位</b> 項あり
監査対応	□ <b>極低</b> 完全対応	□ <b>中</b> 制約あり	Microsoft優位
技術的リスク			
リスク項目	Microsoft 3	65 Google Wo	rkspace リスクレベル差
データ保護不備	□ <b>極低</b> 最高レベル(	□ <b>中</b> 呆護 基本保護	Microsoft優位
システム統合失	□ <b>極低</b> 敗 豊富な実績	□ <b>高</b> 連携制約多	Microsoft大幅優位
性能問題	□ <b>極低</b> 保証充実	□ <b>中</b> 基本保証	Microsoft優位
運用継続困難	□ <b>極低</b> 安定性確保	□ <b>中</b> サービス終	Microsoft <b>優位</b> 了歴
運用リスク			
リスク項目	Microsoft 365	Google Workspa	ace リスクレベル差
サポート不足	□ <b>極低</b> 24時間体制	□ <b>高</b> 制限あり	Microsoft大幅優位
教育機能不足	□ <b>極低</b> 特化機能充実	□ <b>高</b> 一般機能のみ	Microsoft大幅優位
移行困難	□ <b>極低</b> 専門支援	□ <b>中</b> 基本支援	Microsoft優位
コスト超過	□ <b>極低</b> 教育割引充実	[] <b>中</b> 追加費用可能性	Microsoft優位

# 使い分け推奨

Microsoft 365を強く推奨する教育機関

### □必須採用推奨

- □地方自治体立学校(小中高)
  - 。 理由:ISMAP要件、データ主権、法的安全性
- □都道府県・市町村教育委員会
  - 。 理由:政府調達基準、データ保護要件
- □大量の要配慮個人情報を扱う学校
  - 。 理由:最高レベルセキュリティ、完全監査対応
- □既存校務システムと統合が必要な学校
  - 。 理由:豊富な連携実績、移行支援充実

#### □高度推奨

- □私立学校(高セキュリティ要求)
- □専門学校・大学(校務利用)
- □教育関連組織・団体

Google Workspaceが条件付きで検討可能な教育機関

#### □条件付き検討可能

- □私立学校(セキュリティ要件が基本レベル)
  - 。 条件: US CLOUD Actリスク受容、CSE設定可能
- □学習系システム中心の利用
  - 。 条件:校務系は別システム、軽微な事務のみ
- ・ □ 小規模校(予算制約が厳しい)
  - 。 条件:法的要件確認、リスク評価実施

#### ×採用非推奨

- × 地方自治体立学校
- × 要配慮個人情報の大量処理が必要
- × 厳格なデータ主権要件がある組織
- ×24時間サポートが必須の組織

# 総合推奨事項

□ 第1推奨: Microsoft 365 Education + Azure

推奨度: □□□□ (5/5)

#### 推奨理由:

- 1. 完全法的適合: 日本の全法令に完全準拠
- 2. 最高セキュリティ: 業界最高水準の保護機能
- 3. 教育特化: 学校現場のニーズを完全理解
- 4. 統合性: 既存システムとの完全連携
- 5. サポート品質: 24時間安心の日本語サポート

#### 適用対象: □全ての教育機関で強く推奨

### □ 第2推奨: Google Workspace for Education

推奨度: □□□ (3/5) - 条件付き

#### 条件付き推奨理由:

- 1. ISMAP準拠: 政府利用可能
- 2. **CSE対応**: 高度暗号化実現可能
- 3. 基本機能: グループウェアとしては優秀
- 4. コスト: 教育機関向け価格設定

#### 適用条件:

- □日本国内データ保存が法的に必須でない
- US CLOUD Actリスクを組織として受容可能
- □高度なセキュリティ設定・運用が可能
- □教育特化機能の不足を補完可能

適用対象: □限定的な条件下でのみ検討可能

### 意思決定フローチャート

#### 開始

1

#### 地方自治体立学校?

- ↓ Yes → Microsoft 365【必須】
- 1 No

#### 要配慮個人情報の大量処理?

- ↓ Yes → Microsoft 365【強く推奨】
- ↓ No

#### 24時間日本語サポート必須?

- ↓ Yes → Microsoft 365【強く推奨】
- ↓ No

#### 既存校務システム統合必要?

- ↓ Yes → Microsoft 365【強く推奨】
- ↓ No

#### US CLOUD Actリスク受容可能?

- ↓ No → Microsoft 365【推奨】
- ↓ Yes

#### 高度セキュリティ設定・運用可能?

- ↓ No → Microsoft 365【推奨】
- ↓ Yes

Google Workspace【条件付き検討可能】

# 最終結論

□明確な結論

#### Microsoft 365 Education + Azure が次世代校務DX基盤として圧倒的に優位

#### 数値による客観的判定:

- 総合スコア: Microsoft 365 (99点) vs Google Workspace (79点)
- 完全対応率: Microsoft 365 (81%) vs Google Workspace (15%)
- リスクレベル: Microsoft 365 (極低) vs Google Workspace (中〜高)

#### □投資判断への提言

### Microsoft 365採用により実現される価値:

- 1. 🛮 リスクゼロの安全運用: 法的・技術的リスクの完全回避
- 2. 5 最高の運用効率: 教育特化機能による作業時間大幅短縮
- 3. □ 完全統合環境: 既存システムとのシームレス連携
- 4. □ **安心のサポート**: 24時間365日の専門サポート
- 5. [ 将来性確保: 継続的な機能強化と長期サポート

ROI (投資対効果): Microsoft 365 が Google Workspace を大幅に上回る

本比較マトリックス作成者: 次世代校務DX専門チーム

作成日: 2025年7月4日

データソース:

- Google Workspace RFI要件ギャップ分析詳細レポート
- Microsoft 365 RFI要件ギャップ分析詳細レポート
- 実証調査結果(Google確認結果と考察.pdf)

免責事項: 本比較は2025年7月時点の情報に基づいており、各サービスの機能改善により状況が変化する可能性があります。最終的な導入決定時は最新情報の確認を推奨します。